

江東区長期計画（前期）

財政計画（令和2年度～6年度）

【令和4年3月策定】

目 次

| | | |
|----|-------------------------------------|----|
| 1. | 財政計画推計の方法 | 1 |
| 2. | 4 財政計画と 3 財政計画の比較 | 2 |
| 3. | 4 財政計画の分析 | |
| | 【歳入】 | 4 |
| | 【歳出】 | 9 |
| 4. | 基金・区債残高の推移 | 13 |
| | 【参考1】一般会計財政収支見込み | 15 |
| | 【参考2】積立基金と特別区債残高の推移 | 16 |
| | 【参考3】財政指標（経常収支比率・公債費負担比率・財政健全化判断比率） | 17 |



※ 本冊子において、表及びグラフに用いられている数値は、特に断り書きがない限り一般会計ベースによるものである。

※ 計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計が一致しない場合がある。

※ 特に断り書きがない場合、財政計画の額は、下記のとおりである。

・ 3 財政計画：令和 2 年度～6 年度（令和 3 年 3 月計画額）

・ 4 財政計画：令和 2 年度～6 年度（令和 4 年 3 月計画額）

→3 年度は補正 9 号編成後予算額・4 年度は当初予算額

1. 財政計画推計の方法

本区は、令和2年3月に長期計画を策定し、あわせて財政的な裏付けとして前期5か年（2年度～6年度）の財政計画を策定した。

財政計画については、長期計画の毎年度の見直しにあわせて改定することとし、もって、長期計画を着実に推進するものである。

【歳入】

- ① 特別区税… 現行の税制度を前提に、ふるさと納税の影響額を反映したほか、納税義務者数及び経済成長率を考慮して推計
- ② 特別区交付金… 経済成長率等を考慮して交付額を推計
- ③ 譲与税等… 現行制度を前提に、主に経済成長率を考慮して推計
- ④ 国・都支出金… 現行制度を前提に、歳出の見込みに連動させて推計
- ⑤ 繰入金… 主要事業の計画に基づき、公共施設建設基金、学校施設改築等基金などを活用するとともに、年度間の財源調整として財政調整基金を活用
- ⑥ 特別区債… 将来の財政負担を考慮し活用
- ⑦ その他の収入… 人口増加や今後の事業計画等を踏まえて推計

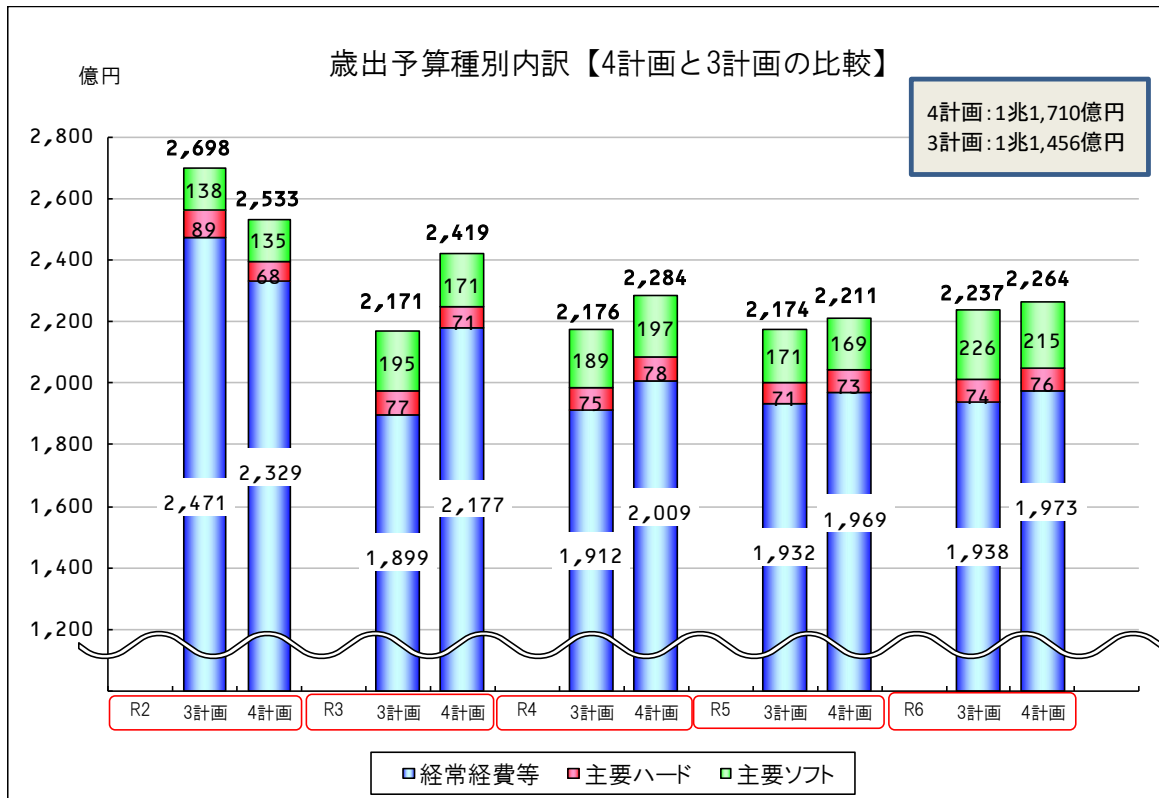
【歳出】

- ① 人件費… 行財政改革計画や今後の退職者の推移などを踏まえて推計
- ② 扶助費… 現行制度を前提に、人口増加や新たな福祉施設の運営費などにより推計
- ③ 公債費… 特別区債について、既発行分及び発行見込額の元利償還金を推計
- ④ 投資的経費… 新規施設の整備及び既存施設の更新等主要ハード事業に基づき推計
- ⑤ その他の経費… 人口増加や新規施設の整備等によるランニングコストなどを考慮して推計

2. 4 財政計画と 3 財政計画の比較

① 財政規模

4 財政計画においては、5 か年の財政規模を総額 1 兆 1,710 億 4,100 万円と見込んでおり、3 財政計画策定時と比較すると 254 億 3,300 万円の増となっている。(3 財政計画：1 兆 1,456 億 800 万円)



(単位：百万円)

| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | |
|----------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 【4計画】 | R2(決算) | R3(補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 4計画計 |
| 主要ハード事業 | 13,515 | 17,115 | 19,741 | 16,888 | 21,547 | 88,806 |
| 主要ソフト事業 | 6,821 | 7,075 | 7,797 | 7,251 | 7,573 | 36,517 |
| 経常経費等 | 232,919 | 217,684 | 200,883 | 196,935 | 197,296 | 1,045,718 |
| 計 | 253,256 | 241,874 | 228,421 | 221,074 | 226,416 | 1,171,041 |
| 【3計画】 | R2(補正8号後) | R3 | R4 | R5 | R6 | 3計画計 |
| 主要ハード事業 | 13,788 | 19,539 | 18,851 | 17,094 | 22,568 | 91,840 |
| 主要ソフト事業 | 8,933 | 7,736 | 7,465 | 7,105 | 7,413 | 38,651 |
| 経常経費等 | 247,068 | 189,854 | 191,235 | 193,193 | 193,767 | 1,015,117 |
| 計 | 269,790 | 217,129 | 217,550 | 217,392 | 223,747 | 1,145,608 |
| 4計画-3計画 | △ 16,534 | 24,745 | 10,871 | 3,682 | 2,669 | 25,433 |

[4 計画-3 計画の増要因]

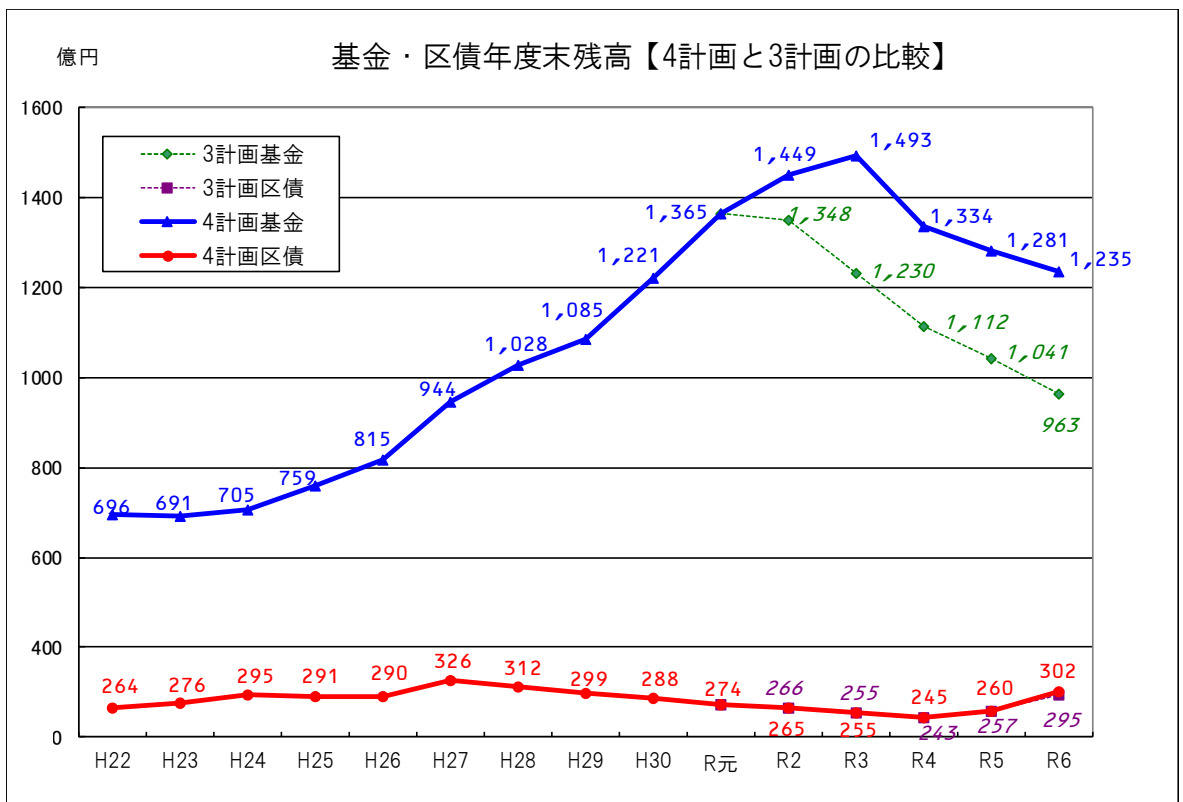
(単位：百万円)

| | 4計画 | 3計画 | 増減 | 主な増減要因 |
|------|---------|---------|--------|----------------------------------|
| 補助費等 | 143,158 | 126,229 | 16,930 | 3年度補正予算(非課税世帯等への臨時特別給付金等)の反映による増 |
| 物件費 | 243,815 | 231,457 | 12,358 | 新型コロナウイルスワクチン接種事業等の増 |
| 積立金 | 49,302 | 40,463 | 8,839 | 3年度補正予算の反映による増 |

② 基金・区債

3 財政計画策定時では、6 年度末において積立基金残高は 963 億円、区債残高は 295 億円、基金残高が区債残高を 668 億円上回るとしていたが、4 財政計画では、6 年度末において積立基金残高は 1,235 億円、区債残高は 302 億円と見込まれ、基金残高が区債残高を 933 億円上回ると見込んでいる。

これは、3 年度に実施された特別区交付金の普通交付金の再調整及び 4 年度以降の増収見込みにより、3 財政計画と比較し、財政調整基金の残高が確保できたことが主な要因である。



注) R2 年度までは決算額、R3 年度は補正 9 号後の現在高

(単位:億円)

| | H27(決算) | H28(決算) | H29(決算) | H30(決算) | R元(決算) |
|--------------|---------|-----------|---------|---------|--------|
| 【実績】 | | | | | |
| 積立基金 | 944 | 1,028 | 1,085 | 1,221 | 1,365 |
| 区債 | 326 | 312 | 299 | 288 | 274 |
| 差 | 618 | 717 | 786 | 932 | 1,091 |
| 【4計画】 | R2(決算) | R3(補正9号後) | R4 | R5 | R6 |
| 積立基金 | 1,449 | 1,493 | 1,334 | 1,281 | 1,235 |
| 区債 | 265 | 255 | 245 | 260 | 302 |
| 差 | 1,184 | 1,238 | 1,089 | 1,021 | 933 |

3. 4 財政計画の分析

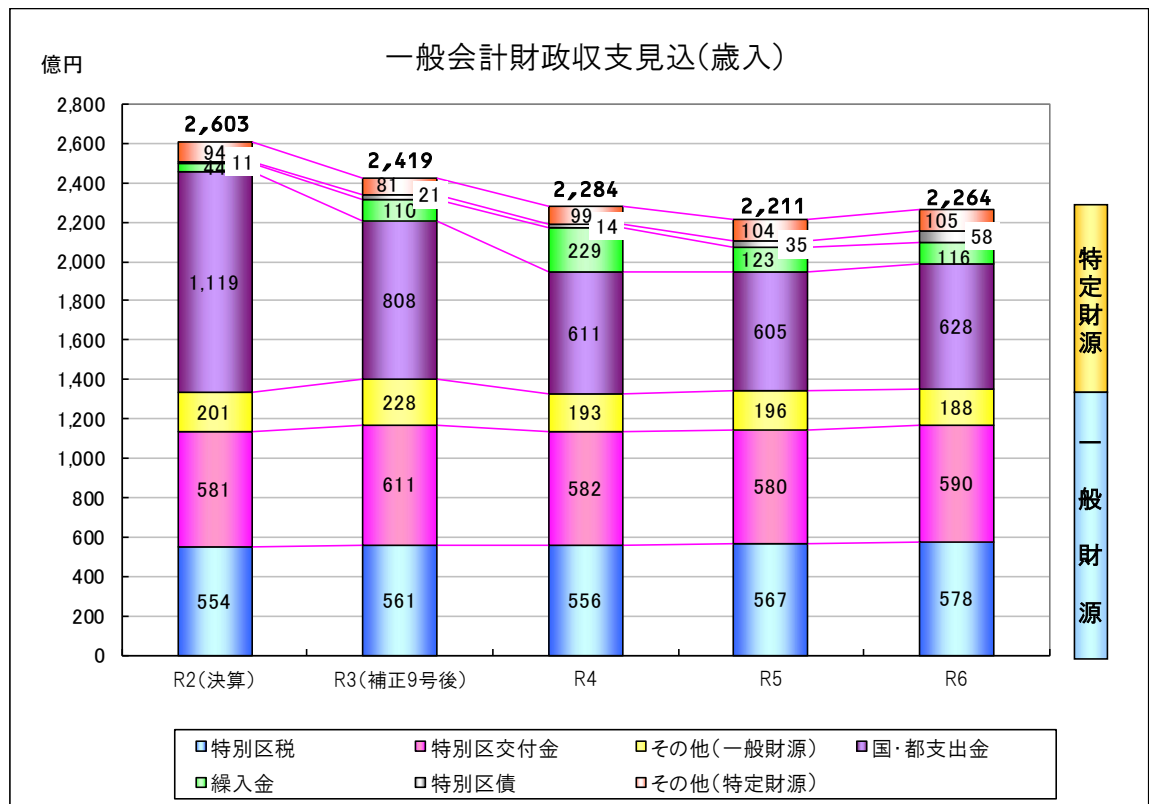
【歳入】

① 総括

5か年の歳入では、一般財源が6,766億円(構成比57.4%)、特定財源が5,015億円(構成比42.6%)と見込んでいる。

一般財源では、特別区税を2,815億円、特別区交付金を2,945億円と見込み、この2つで歳入全体の約半分を占めており、本区の主要財源である。

特定財源では、国・都支出金のほか、繰入金が主な内容である。



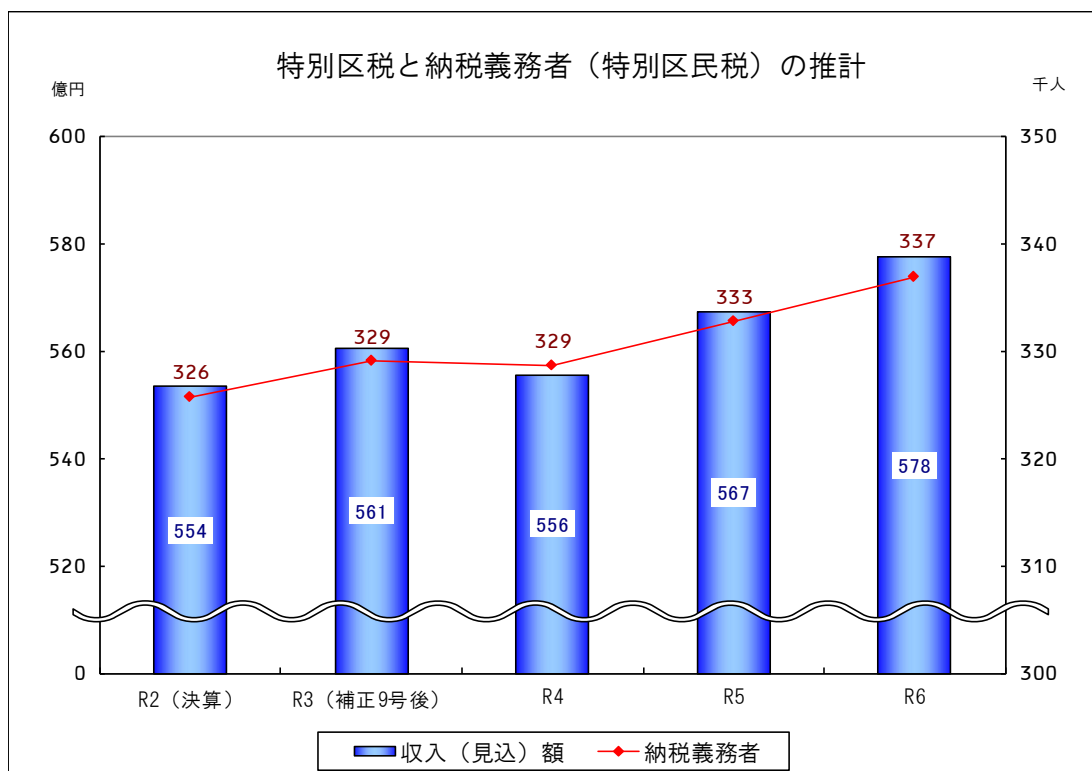
(単位: 億円、%)

| | R2(決算) | R3(補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 | 構成比 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| 一般財源 | 1,335 | 1,400 | 1,331 | 1,344 | 1,356 | 6,766 | 57.4 |
| 特別区税 | 554 | 561 | 556 | 567 | 578 | 2,815 | 23.9 |
| 特別区交付金 | 581 | 611 | 582 | 580 | 590 | 2,945 | 25.0 |
| その他(一般財源) | 201 | 228 | 193 | 196 | 188 | 1,006 | 8.5 |
| 特定財源 | 1,268 | 1,019 | 953 | 867 | 908 | 5,015 | 42.6 |
| 国・都支出金 | 1,119 | 808 | 611 | 605 | 628 | 3,770 | 32.0 |
| 繰入金 | 44 | 110 | 229 | 123 | 116 | 623 | 5.3 |
| 特別区債 | 11 | 21 | 14 | 35 | 58 | 139 | 1.2 |
| その他(特定財源) | 94 | 81 | 99 | 104 | 105 | 483 | 4.1 |
| 計 | 2,603 | 2,419 | 2,284 | 2,211 | 2,264 | 11,781 | 100.0 |

② 特別区税

特別区税については、所得環境の改善が見られるものの、ふるさと納税の影響拡大等により4年度は減収を見込む。

- 納税義務者数については、2年度の33万人から、6年度には34万人となり、緩やかではあるが増加を見込んでいる。
- 所得環境が改善傾向にある一方で、ふるさと納税による減収影響の拡大等により、4年度は3年度決算見込みと比較して減となっている。
- 景気動向等が不透明ではあるが、4年度から6年度までは緩やかな回復基調が続くものと見込んでいる。



| | R2 (決算) | R3 (補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 |
|------|------------|---------------|--------|--------|--------|---------|
| 区民税 | 51,527 | 52,002 | 51,527 | 52,804 | 53,913 | 261,773 |
| たばこ税 | 3,601 | 3,822 | 3,788 | 3,674 | 3,564 | 18,449 |
| その他 | 223 | 233 | 260 | 261 | 282 | 1,257 |
| 計 | 55,351 | 56,057 | 55,574 | 56,738 | 57,759 | 281,479 |

【推計方法】

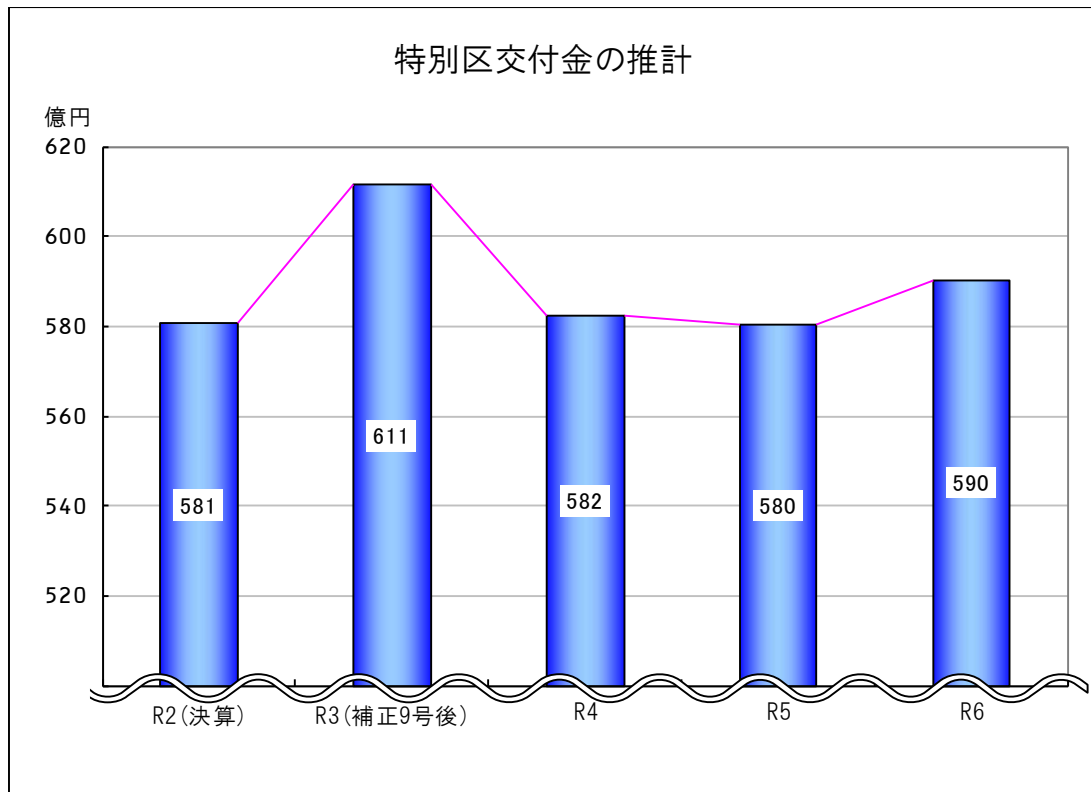
ふるさと納税の影響額を反映するとともに、納税義務者数及び経済成長率を考慮して推計。

③ 特別区交付金

特別区交付金は、企業収益の持ち直し等による調整税等の増により3年度決算見込みは大きく増収を見込む。

景気動向が不透明ではあるが、4年度以降は堅調に推移していくものと見込んでいる。

- 3年度は再調整が実施されたことにより、決算見込みが前年度比大幅な増となった。4年度は不透明なため、2年度決算並みの見込みとしている。
- 5年度以降は、経済成長率等を考慮し推計した。



(単位: 百万円)

| | R2 (決算) | R3 (補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 |
|-------|------------|---------------|--------|--------|--------|---------|
| 普通交付金 | 56,424 | 60,141 | 56,639 | 56,425 | 57,440 | 287,068 |
| 特別交付金 | 1,642 | 1,000 | 1,600 | 1,600 | 1,600 | 7,442 |
| 計 | 58,066 | 61,141 | 58,239 | 58,025 | 59,040 | 294,511 |

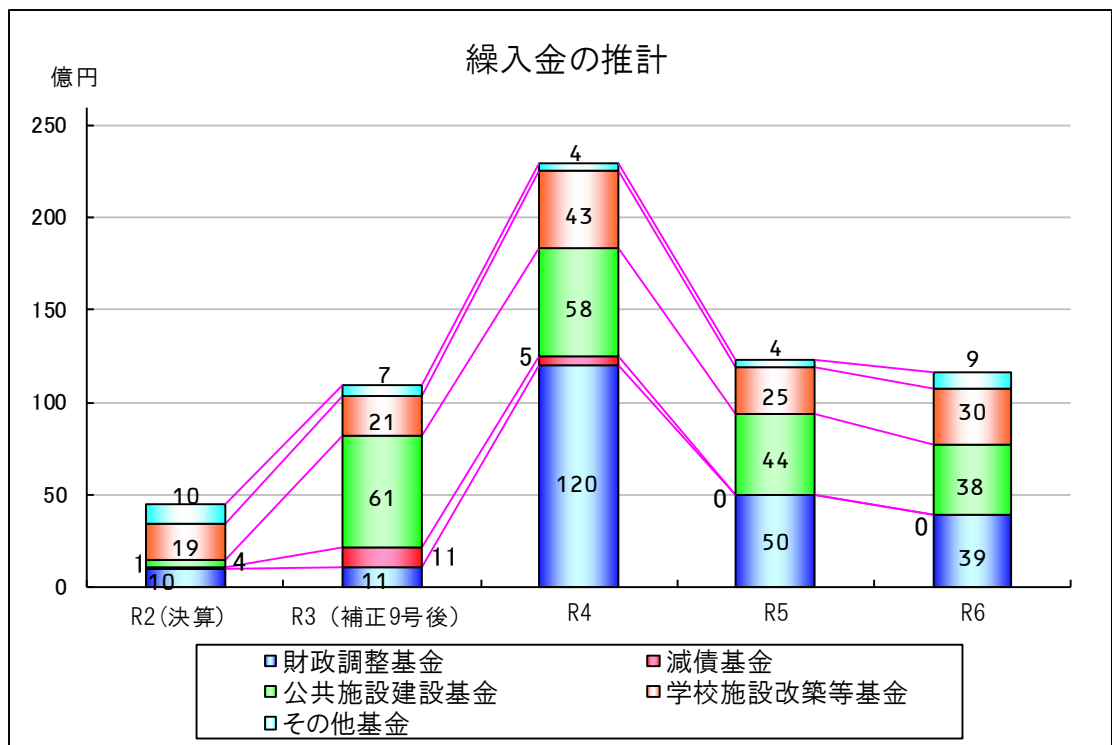
【推計方法】

税制改正のほか、経済成長率等を考慮して交付額を推計。

④ 繰入金

6年度までに見込まれる公共施設の整備や改築・改修等に合わせて公共施設建設基金や学校施設改築等基金を投資的経費に充当するとともに、安定的な区民サービスを提供するために、年度間の財源調整として、財政調整基金を活用した。その結果、5年間で623億2,600万円の活用を見込んでいる。

- 財政調整基金については、5か年で229億3,000万円の活用を見込んでいる。
- 公共施設建設基金については、5か年で204億6,000万円の活用を見込んでいる。



(単位:百万円)

| | R2(決算) | R3(補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 |
|-----------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 財政調整基金 | 1,000 | 1,051 | 12,020 | 5,002 | 3,857 | 22,930 |
| 減債基金 | 101 | 1,099 | 483 | 0 | 0 | 1,683 |
| 公共施設建設基金 | 390 | 6,050 | 5,810 | 4,370 | 3,840 | 20,460 |
| 学校施設改築等基金 | 1,925 | 2,121 | 4,268 | 2,546 | 3,036 | 13,896 |
| その他基金 | 1,024 | 660 | 358 | 418 | 897 | 3,357 |
| 計 | 4,440 | 10,981 | 22,939 | 12,336 | 11,630 | 62,326 |

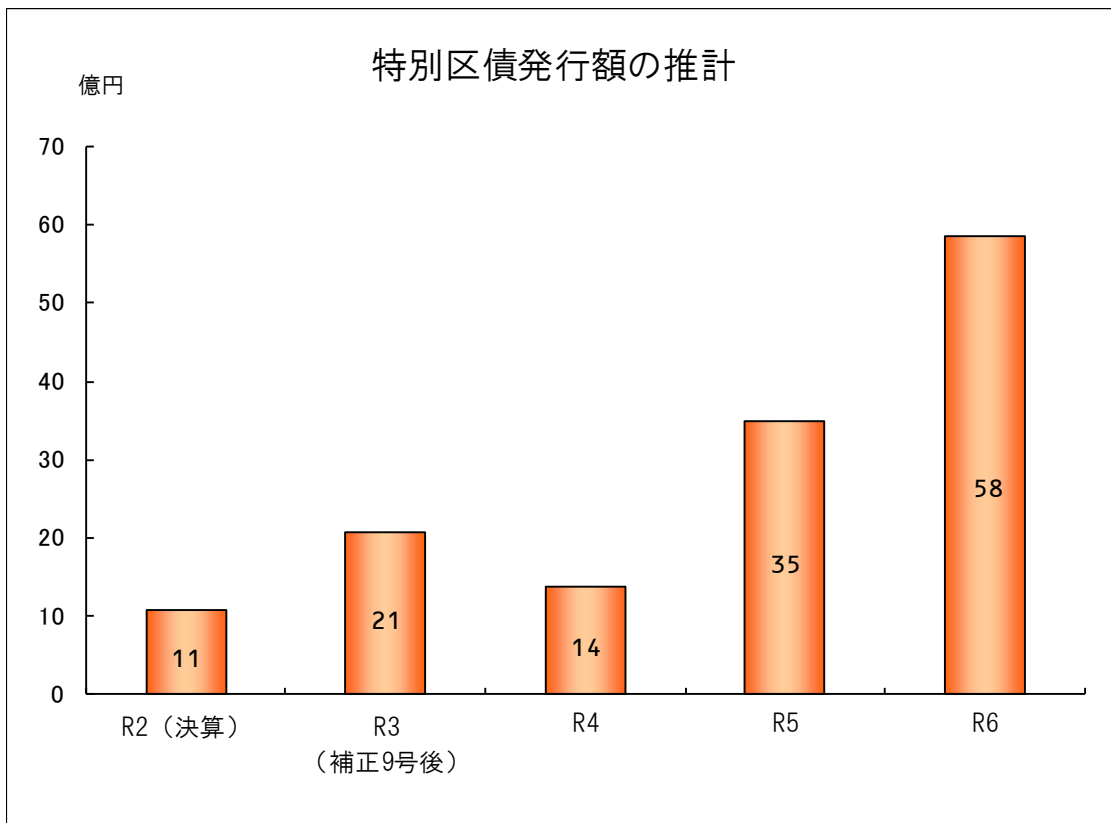
【推計方法】

主要事業の計画に基づき、公共施設建設基金、学校施設等改築基金などを活用するとともに、年度間の財源調整として財政調整基金を活用し推計。

⑤ 特別区債

特別区債については、施設整備等の財源として、後年度負担にも十分配慮し、将来の区民にも公平な負担を求めるものである。その結果、5か年で138億9,800万円の発行を見込んでいる。

- 民生債は、福祉施設等の整備、改修等の財源として活用する。
- 土木債は、区営住宅の改修等の財源として活用する。
- 教育債は、義務教育施設等の増改築等の財源として活用する。



【特別区債・目的別内訳】

(単位:百万円)

| | R2 (決算) | R3 (補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 |
|-----|------------|---------------|-------|-------|-------|--------|
| 民生債 | 430 | 1,305 | 480 | 2,786 | 3,953 | 8,954 |
| 土木債 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1,064 | 1,070 |
| 教育債 | 652 | 775 | 905 | 711 | 831 | 3,874 |
| 計 | 1,088 | 2,080 | 1,385 | 3,497 | 5,848 | 13,898 |

【推計方法】

将来の財政負担を考慮のうえ特別区債を活用し推計。

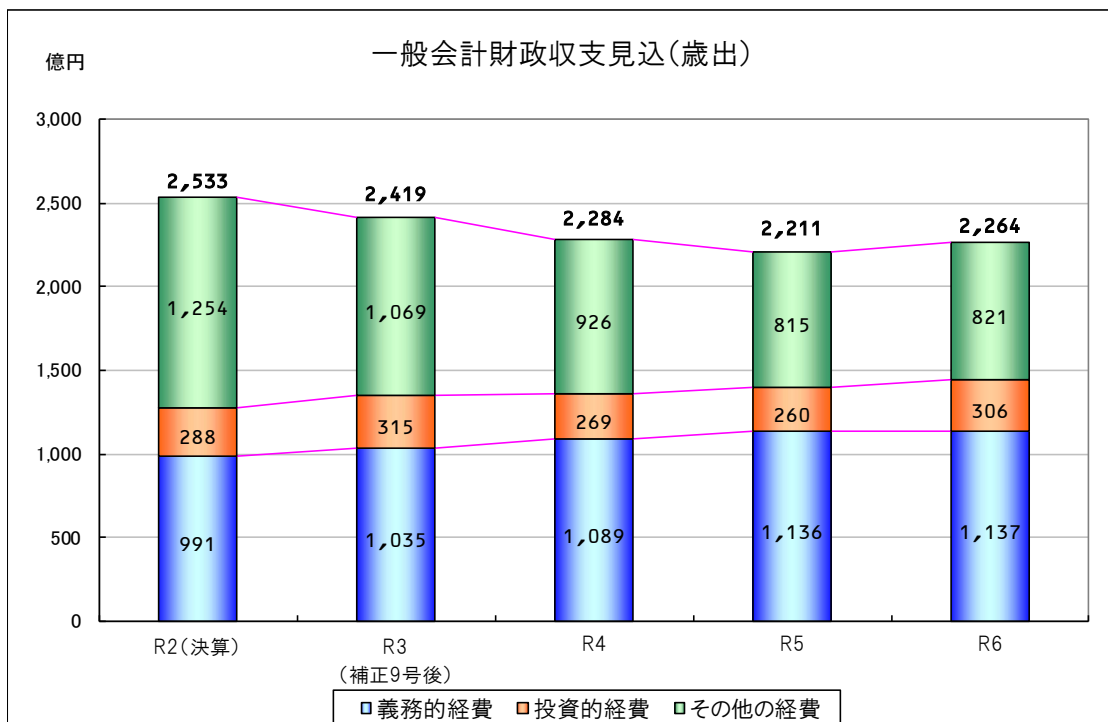
【歳 出】

① 総 括

前期5か年の歳出では、義務的経費の構成比が46.0%と歳出の約半分であり、特に扶助費の増加が見込まれる。

また、投資的経費は12.3%で主要ハード事業の計画に基づき見込んでおり、老朽化した施設の改修等に係る経費が多くなっている。

なお、その他の経費については41.7%と見込んでいる。



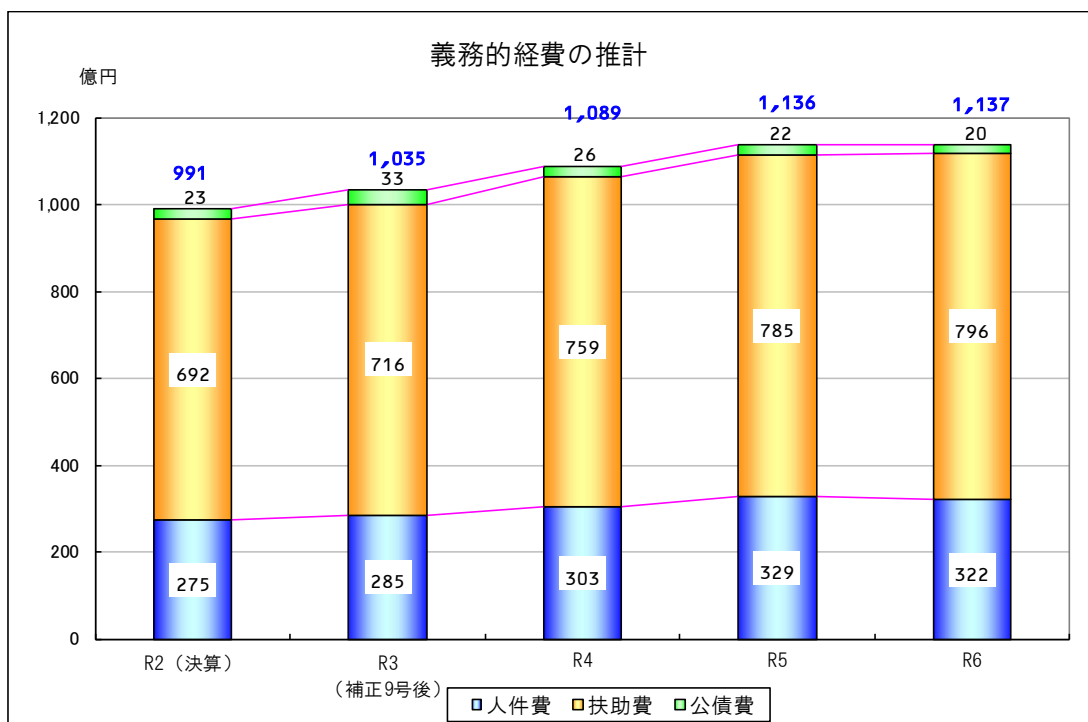
(単位:億円、%)

| | R2 (決算) | R3 (補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 | 構成比 |
|--------|------------|---------------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 義務的経費 | 991 | 1,035 | 1,089 | 1,136 | 1,137 | 5,388 | 46.0 |
| 人件費 | 275 | 285 | 303 | 329 | 322 | 1,515 | 12.9 |
| 扶助費 | 692 | 716 | 759 | 785 | 796 | 3,748 | 32.0 |
| 公債費 | 23 | 33 | 26 | 22 | 20 | 125 | 1.1 |
| 投資的経費 | 288 | 315 | 269 | 260 | 306 | 1,438 | 12.3 |
| その他の経費 | 1,254 | 1,069 | 926 | 815 | 820 | 4,885 | 41.7 |
| 計 | 2,533 | 2,419 | 2,284 | 2,211 | 2,264 | 11,710 | 100.0 |

② 義務的経費

義務的経費については、経費の性質上、削減が困難な経費である。特に、扶助費においては、子育て支援や高齢者・障害者施策の充実により、引き続き増加が見込まれる。

- 人件費については、増大する新たな行政需要に適切に対応しつつ、引き続き技能系職員等の退職不補充を行うなど、定員適正化を推進していく。前期5か年で1,514億8,000万円を見込んでいる。
(6年度の職員定数は令和元年度と同数の2,715人)
- 扶助費については、5か年で右肩上がりに増加し、3,748億2,600万円を見込んでいる。今後も保育施策や障害者施策の関連経費など増加が見込まれ、将来的な財政の硬直化が懸念されるなど、財政運営上の大きな課題となっている。
- 公債費については、5か年で124億6,700万円を見込んでいる。今後も、将来的な負担や世代間負担の公平性を考慮しつつ、適債事業へ起債の活用を図っていく。



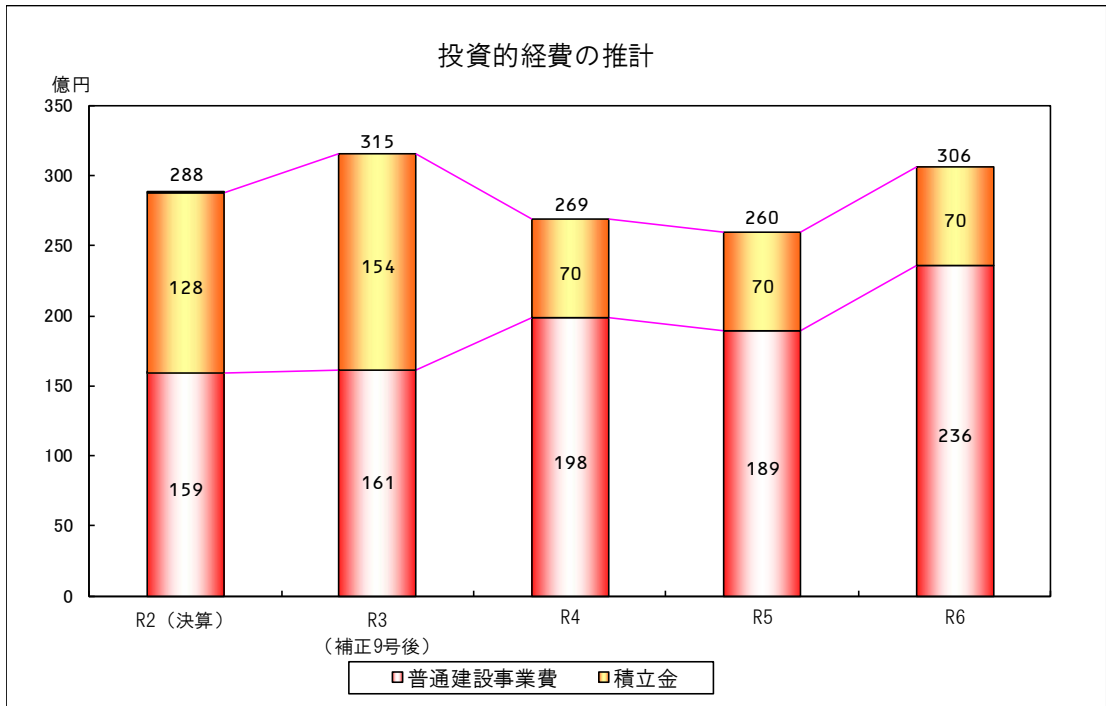
【推計方法】

- 人件費：今後の退職者の推移等を踏まえ推計。
- 扶助費：現行制度を前提に、人口増加や施設の運営費などにより推計。
- 公債費：特別区債について、既発行分及び発行見込額の元利償還金を推計。

③ 投資的経費

投資的経費のうち、普通建設事業費は、前期5か年で962億5,200万円と見込んでいる。

積立金は当初予算で計上しているルール分等を見込んでいる。実態として、特別区税の増収や、節減努力による余剰金を積立てており、2年度決算においても公共施設建設基金への積立を行った。



(単位:百万円)

| | R2(決算) | R3 (補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 |
|---------|--------|---------------|--------|--------|--------|---------|
| 普通建設事業費 | 15,946 | 16,147 | 19,839 | 18,947 | 23,606 | 94,486 |
| 積立金 | 12,820 | 15,391 | 7,032 | 7,030 | 7,030 | 49,302 |
| 計 | 28,766 | 31,538 | 26,871 | 25,977 | 30,636 | 143,788 |

【推計方法】

新規施設の整備及び既存施設の更新等の主要事業(ハード)等に基づき推計。

[参考]主要ハード事業 タイプ別集計

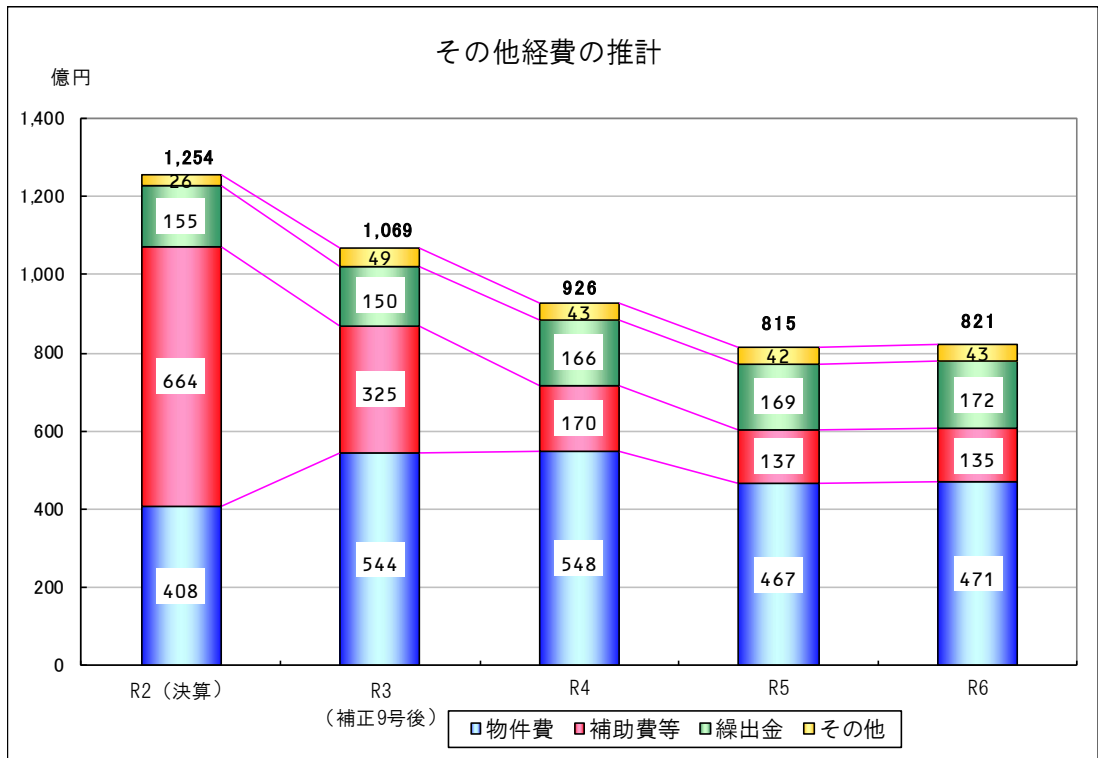
(単位:百万円)

| | R2 (決算) | R3 (補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 |
|---------------|------------|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 新設 | 2,786 | 4,731 | 2,951 | 2,442 | 1,251 | 14,161 |
| 増築 | 2,779 | 2,466 | 644 | 0 | 0 | 5,889 |
| 改築 | 1,838 | 2,467 | 3,558 | 1,504 | 5,980 | 15,347 |
| 大規模改修 | 5,058 | 5,437 | 8,183 | 8,818 | 6,785 | 34,280 |
| その他(小規模・耐震補強) | 725 | 2,003 | 3,993 | 1,680 | 1,221 | 9,622 |
| 計 | 13,185 | 17,104 | 19,328 | 14,445 | 15,237 | 79,300 |

④ その他の経費

その他の経費については、施設のランニングコスト、各種補助金及び特別会計への繰出金などで、前期5か年で4,884億8,100万円と見込んでいる。

- 物件費においては、施設のランニングコストや事業の民間委託に要する経費などを見込んでいる。今後も行財政改革計画に基づく民間委託の推進や、近年の物価上昇などにより、総じて上昇傾向が見込まれる。
- 特別会計繰出金については、介護保険や後期高齢者医療保険に係る事業など、高齢者の増加により区の負担が増加することが見込まれる。



(単位:百万円)

| | R2 (決算) | R3 (補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 |
|------|------------|---------------|--------|--------|--------|---------|
| 物件費 | 40,846 | 54,437 | 54,757 | 46,685 | 47,090 | 243,815 |
| 補助費等 | 66,440 | 32,548 | 17,034 | 13,665 | 13,472 | 143,158 |
| 繰出金 | 15,516 | 14,970 | 16,573 | 16,884 | 17,193 | 81,136 |
| その他 | 2,637 | 4,913 | 4,283 | 4,242 | 4,295 | 20,371 |
| 計 | 125,439 | 106,868 | 92,648 | 81,477 | 82,050 | 488,481 |

【推計方法】

人口増加や新規施設の整備等によるランニングコストなどを考慮して推計。

4. 基金・区債残高の推移

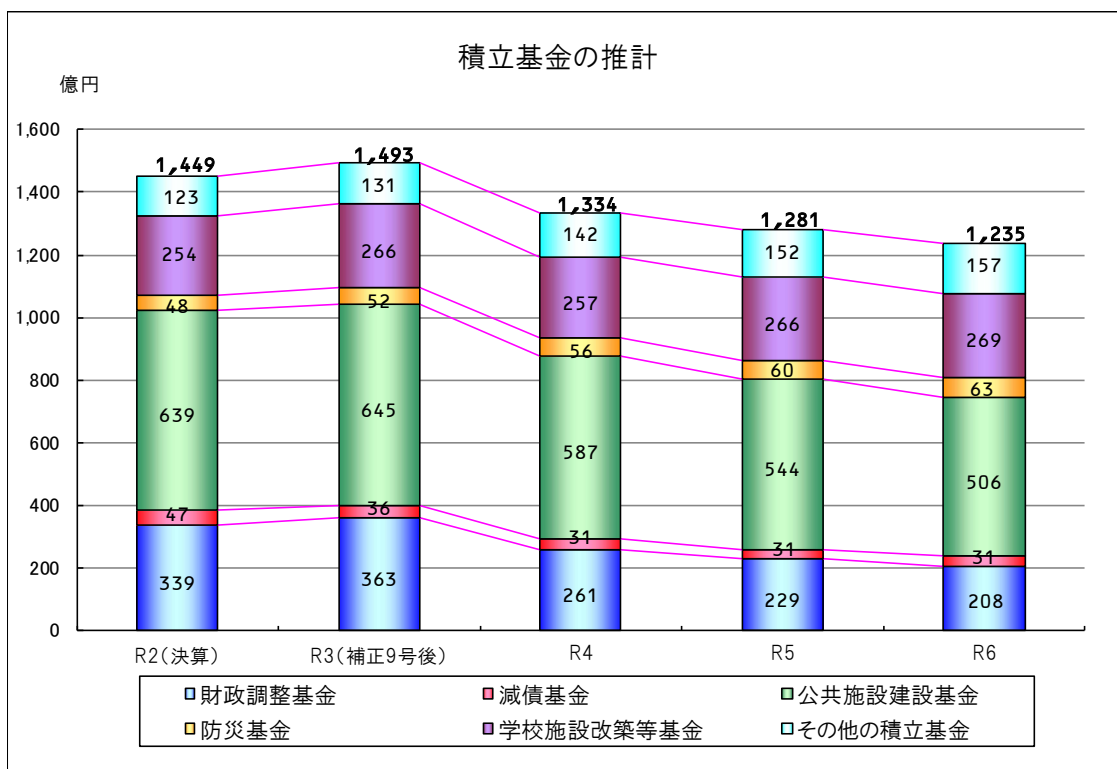
長期計画（前期）の着実な実現に向けて、基金・区債の効率的かつ効果的な活用を図る。

一方で、後年度を見据え、基金残額と区債発行余力の確保に努める。

① 基金残高の推移

積立基金残高は、3年度末で1,493億円、最終年度の6年度末においては1,235億円と見込まれる。

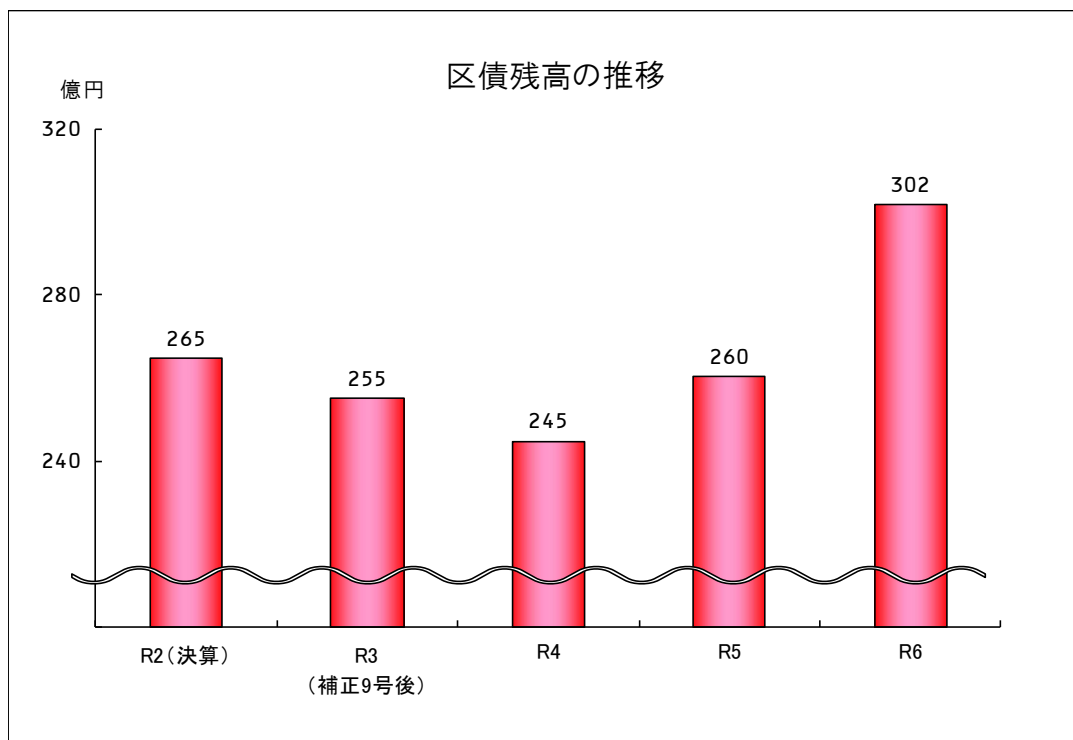
4年度以降においても、これまで培った公共施設建設基金や学校施設改築等基金を積極的に活用するほか、年度間の財源調整として財政調整基金の繰入を見込んでいる。



② 区債残高の推移

区債残高は、3年度末で255億円となり、最終年度の6年度末においては302億円と見込まれる。

区債の発行については、将来の財政負担を考慮しつつ、積極的な活用を図っている。

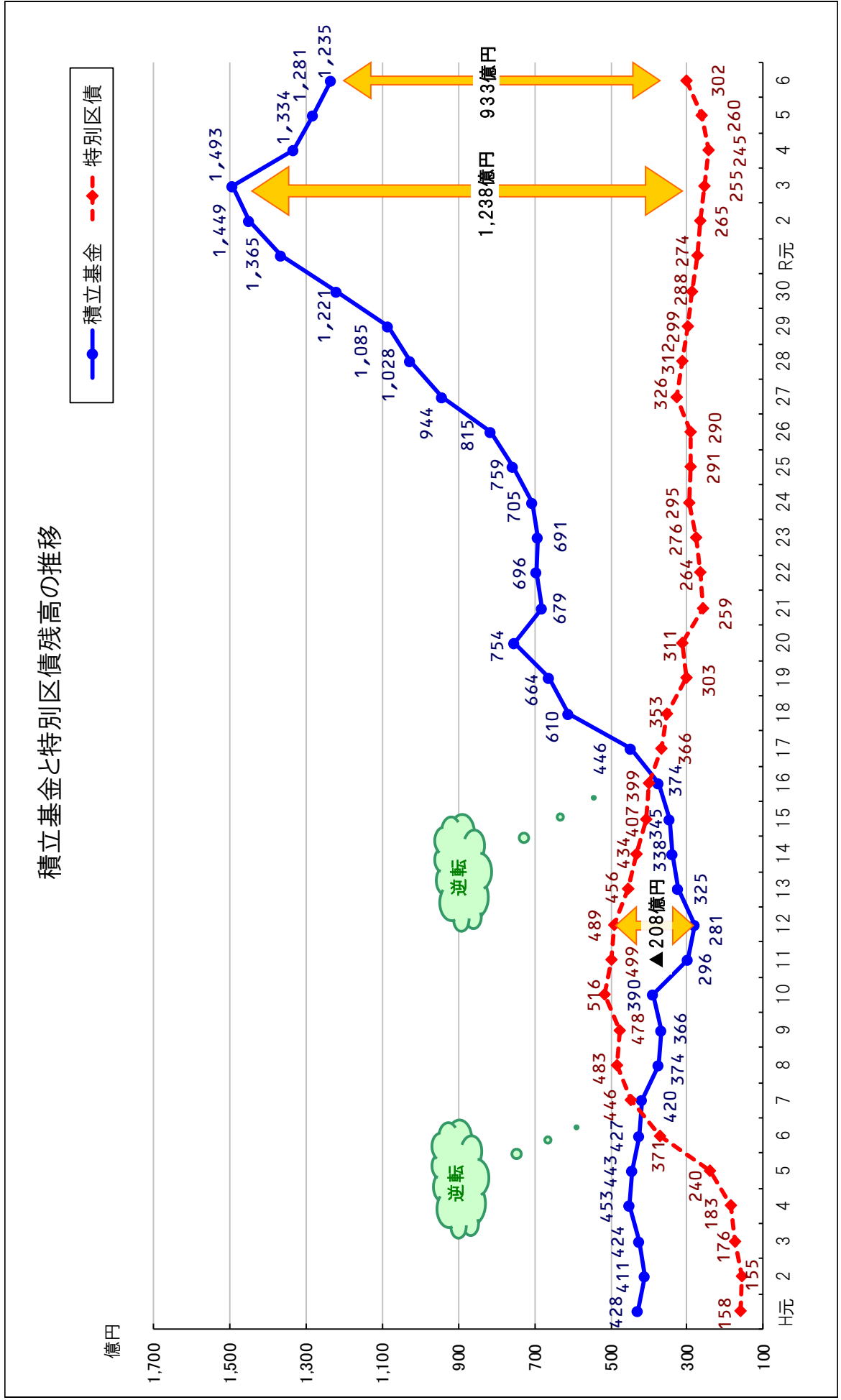


【参考1】一般会計財政収支見込み

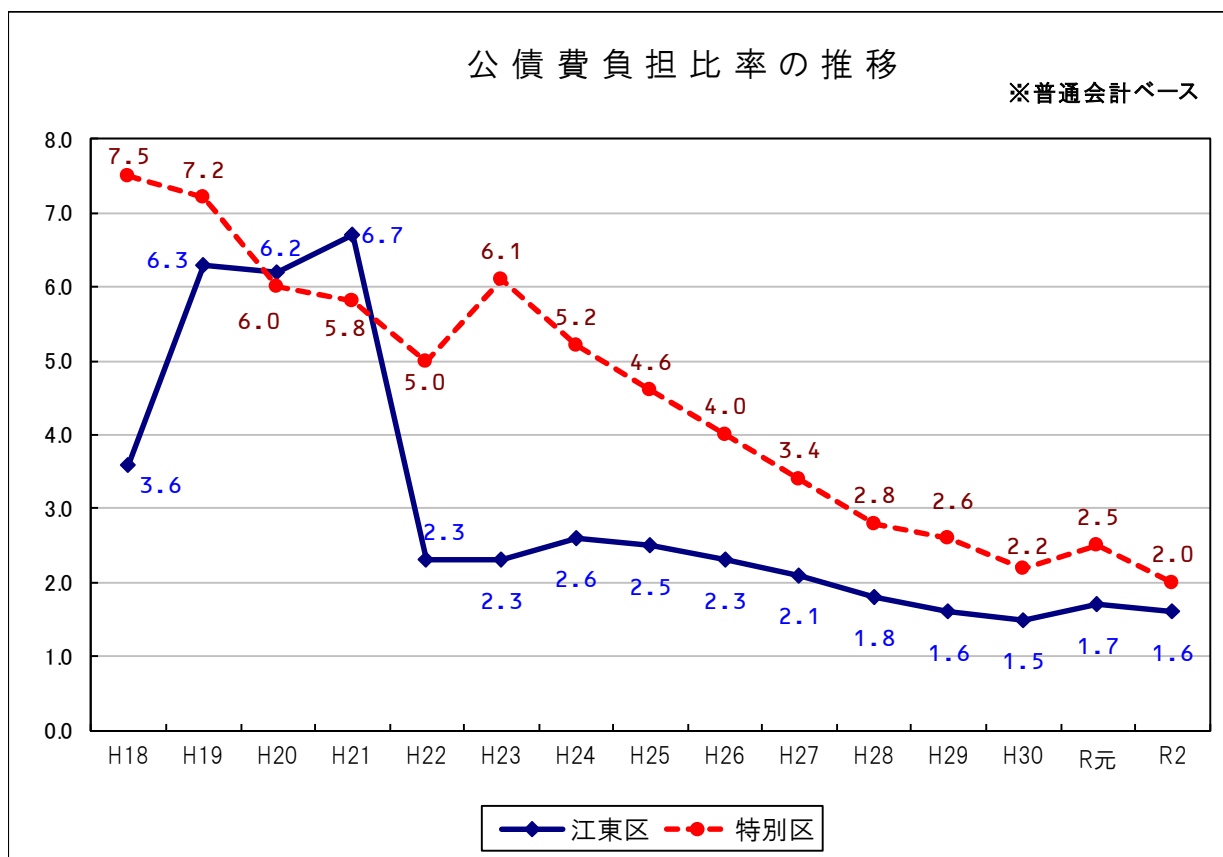
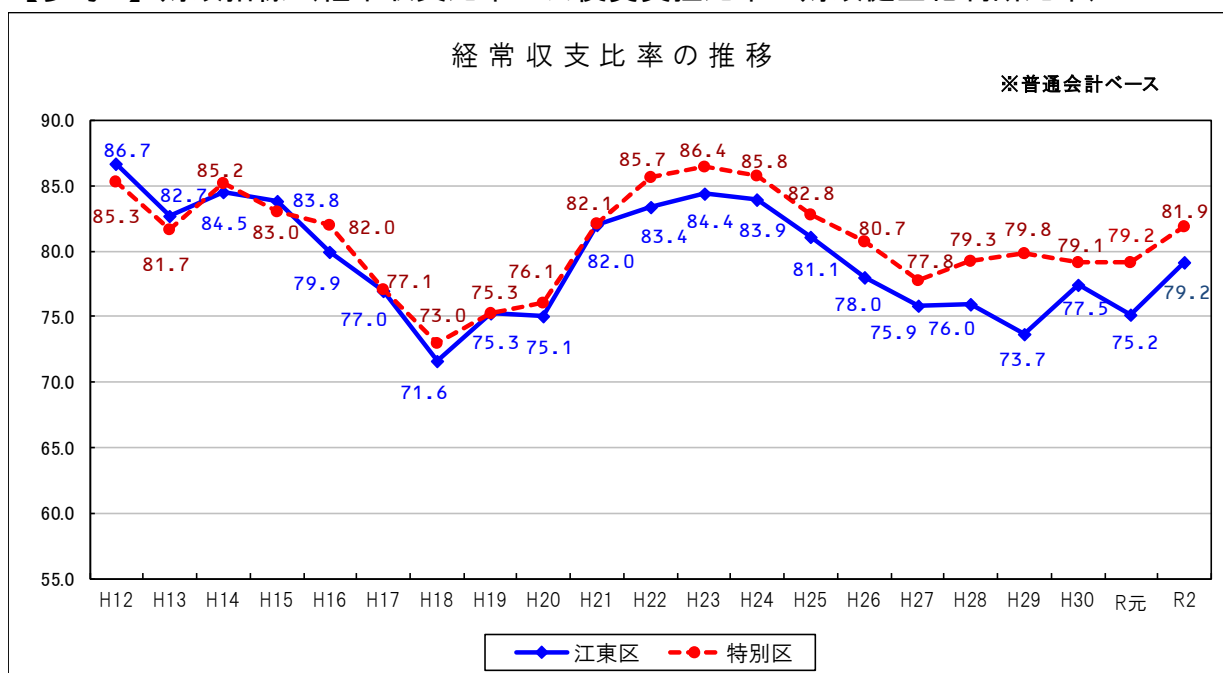
(単位:百万円)

| 区 分 | R2(決算) | R3(補正9号後) | R4 | R5 | R6 | 前期計 |
|---------------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|
| 歳 入 | | | | | | |
| 一 般 財 源 | 133,543 | 139,952 | 133,123 | 134,372 | 135,622 | 676,611 |
| 特 別 区 税 | 55,351 | 56,057 | 55,574 | 56,738 | 57,759 | 281,479 |
| 特 別 区 交 付 金 | 58,066 | 61,141 | 58,239 | 58,025 | 59,040 | 294,511 |
| そ の 他 | 20,126 | 22,754 | 19,310 | 19,609 | 18,822 | 100,622 |
| 特 定 財 源 | 126,755 | 101,922 | 95,298 | 86,702 | 90,794 | 501,471 |
| 国・都支出金 | 111,877 | 80,763 | 61,105 | 60,461 | 62,778 | 376,983 |
| 繰 入 金 | 4,440 | 10,981 | 22,939 | 12,336 | 11,630 | 62,326 |
| 特 別 区 債 | 1,088 | 2,080 | 1,385 | 3,497 | 5,848 | 13,898 |
| 計 | 260,298 | 241,874 | 228,421 | 221,074 | 226,416 | 1,178,083 |
| 歳 出 | | | | | | |
| 義 務 的 経 費 | 99,051 | 103,468 | 108,903 | 113,620 | 113,730 | 538,773 |
| 人 件 費 | 27,522 | 28,545 | 30,346 | 32,894 | 32,173 | 151,480 |
| 扶 助 費 | 69,183 | 71,621 | 75,913 | 78,520 | 79,589 | 374,826 |
| 公 債 費 | 2,346 | 3,302 | 2,644 | 2,206 | 1,969 | 12,467 |
| 投 資 的 経 費 | 28,766 | 31,538 | 26,871 | 25,977 | 30,636 | 143,788 |
| 普通建設事業費 | 15,946 | 16,147 | 19,839 | 18,947 | 23,606 | 94,486 |
| 積 立 金 | 12,820 | 15,391 | 7,032 | 7,030 | 7,030 | 49,302 |
| そ の 他 の 経 費 | 125,439 | 106,868 | 92,648 | 81,477 | 82,050 | 488,480 |
| 物 件 費 | 40,846 | 54,437 | 54,757 | 46,685 | 47,090 | 243,815 |
| 維 持 補 修 費 | 2,205 | 4,195 | 3,516 | 3,173 | 3,173 | 16,262 |
| 補 助 費 等 | 66,440 | 32,548 | 17,034 | 13,665 | 13,472 | 143,158 |
| 貸 付 金 ・ 出 資 金 | 432 | 418 | 467 | 770 | 822 | 2,909 |
| そ の 他 | 15,516 | 15,270 | 16,873 | 17,184 | 17,493 | 82,336 |
| 計 | 253,256 | 241,874 | 228,421 | 221,074 | 226,416 | 1,171,041 |

【参考2】積立基金と特別区債残高の推移



【参考3】 財政指標（経常収支比率・公債費負担比率・財政健全化判断比率）



| 【財政健全化判断比率】 | 早期健全化 基準 | 江 東 区 | | | 特 別 区 | | |
|-------------|-------------|-------|------|------|-------|------|------|
| | | H30年度 | R元年度 | R2年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 |
| 実質赤字比率 | 11.25 | — | — | — | — | — | — |
| 連結実質赤字比率 | 16.25 | — | — | — | — | — | — |
| 実質公債費比率 | 25.0 | △4.2 | △4.0 | △3.7 | △3.4 | △3.5 | △3.4 |
| 将来負担比率 | 350.0 | — | — | — | — | — | — |